

完了後の評価個表

整理番号	5-1
------	-----

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	熊本県
ふりがな 地域(地区)名	たらぎ 多良木	事業実施主体	熊本県
関係市町村	多良木町	管理主体	多良木町
事業実施期間	平成18年度～平成22年度(5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 本地区は、熊本県の南部、球磨郡の東部に位置し、中央部は平坦地で南部と北部は九州山脈の支脈を形成する森林に覆われている。土地は肥沃で、温暖多湿な気候にも恵まれていることから、良質の米や果樹等が栽培されるとともに、豊富な森林資源により、木材や椎茸等の林産物も数多く産出されている。</p> <p>② 森林の状況 本地区の利用区域面積1,587haのうち、人工林面積は1,099ha(人工林率69%)で、樹種はスギ、ヒノキが大半を占めている。人工林のうち間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級以上の森林は1,068haで、人工林面積の97%を占めている。 また、利用区域内の森林のうち、8haが水源かん養保安林、650haが土砂流出防備保安林に指定されており、約41%が水土保全林に区分されている。このため、森林の持つ水源涵養機能等の公益的機能を高度に発揮させるための森林整備が必要となっている。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意義 本地区は重要な森林地帯であり、間伐等の森林整備を必要とする人工林が多く存在している。このため、木材生産や森林整備の低コスト化を図り、豊富な森林資源の循環利用による適切な森林整備を促進することを目的として、林道の整備を実施した。また、本林道は災害時の迂回路としての役割も期待されている。</p> <p>(事業概要) 林道整備(森林基幹道) ・槻木北線 車道幅員 4.0m 開設延長 17,480m 利用区域面積 1,587ha</p> <p>総事業費 1,755,128千円 (当初総事業費 1,650,433千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成28年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 事業採択以降に費用対効果分析の手法が見直されたことにより総便益が減少し、開設区間の切土法面の安定を図るため、対策工法を施工したこと等により総費用が増加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>2,199,601千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>3,162,788千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>2,135,344千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>1,531,668千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.03</td> <td>(事業採択時</td> <td>2.06)</td> </tr> </table>	総便益(B)	2,199,601千円	(事業採択時	3,162,788千円)	総費用(C)	2,135,344千円	(事業採択時	1,531,668千円)	分析結果(B/C)	1.03	(事業採択時	2.06)
総便益(B)	2,199,601千円	(事業採択時	3,162,788千円)										
総費用(C)	2,135,344千円	(事業採択時	1,531,668千円)										
分析結果(B/C)	1.03	(事業採択時	2.06)										
② 事業効果の発現状況	<p>林道の整備により、木材生産や森林整備の低コスト化が図られたことで、手入れを必要としていた90haの人工林で間伐等が実施され、森林の有する公益的機能の向上が図られている。</p>												
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により開設された林道は、多良木町が定めた多良木町民有林林道管理規定に基づき適切に管理されており、良好な維持管理状況にある。</p>												
④ 事業実施による環境の変化	<p>林道の整備により、森林施業地までのアクセス時間や木材市場までの輸送時間の短縮が図られた。このことにより、林業従事者の労働環境の改善、木材生産や森林整備のコストが低減され、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上してきている。 また、林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見られない。</p>												
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林道の整備により、森林施業地までの到達時間短縮による労働強度の軽減、高性能林業機械の導入や運搬車両の大型化が可能となったため、作業コストの軽減が図られ、林業生産性が向上しつつある。</p>												

⑥ 今後の課題等	<p>森林施業に対する所有者の意欲が徐々に増進しているが、木材価格の低迷等により間伐等の森林整備は十分とは言えない状況にある。今後は、本林道と森林作業道をつないだ路網整備や施業の集約化を促進し、効率的な森林整備を推進する必要がある。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 森林整備の実施により、水源涵養機能や山地保全機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。(熊本県)・ 林道の整備により、木材生産や森林整備が促進され、地域の森林資源の有効活用に大きく寄与した。(多良木町)・ 県道144号線の通行止めには、迂回路として機能している。(多良木町)・ 人口減少が進む中で、今後の施設管理をどのように維持していくかが課題となっている。(多良木町)
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 必要性： 林道の整備により、適切な森林整備が実施され、森林の有する水源涵養等の公益的機能の発揮や、地域住民の生活道としての役割に寄与していることから、事業の必要性が認められる。・ 効率性： 事業実施において、現地の地形に応じた計画線形の選定を行うとともに、工事実施に当たっても現地発生材を有効利用する等、コスト縮減に努めていることから、事業の効率性が認められる。・ 有効性： 林道の整備により森林へのアクセスが容易となり、木材生産や森林整備のコスト縮減による森林資源の循環利用が促進され、今後も開設効果の発現が見込まれる。

便 益 集 計 表

事業名:森林居住環境整備事業

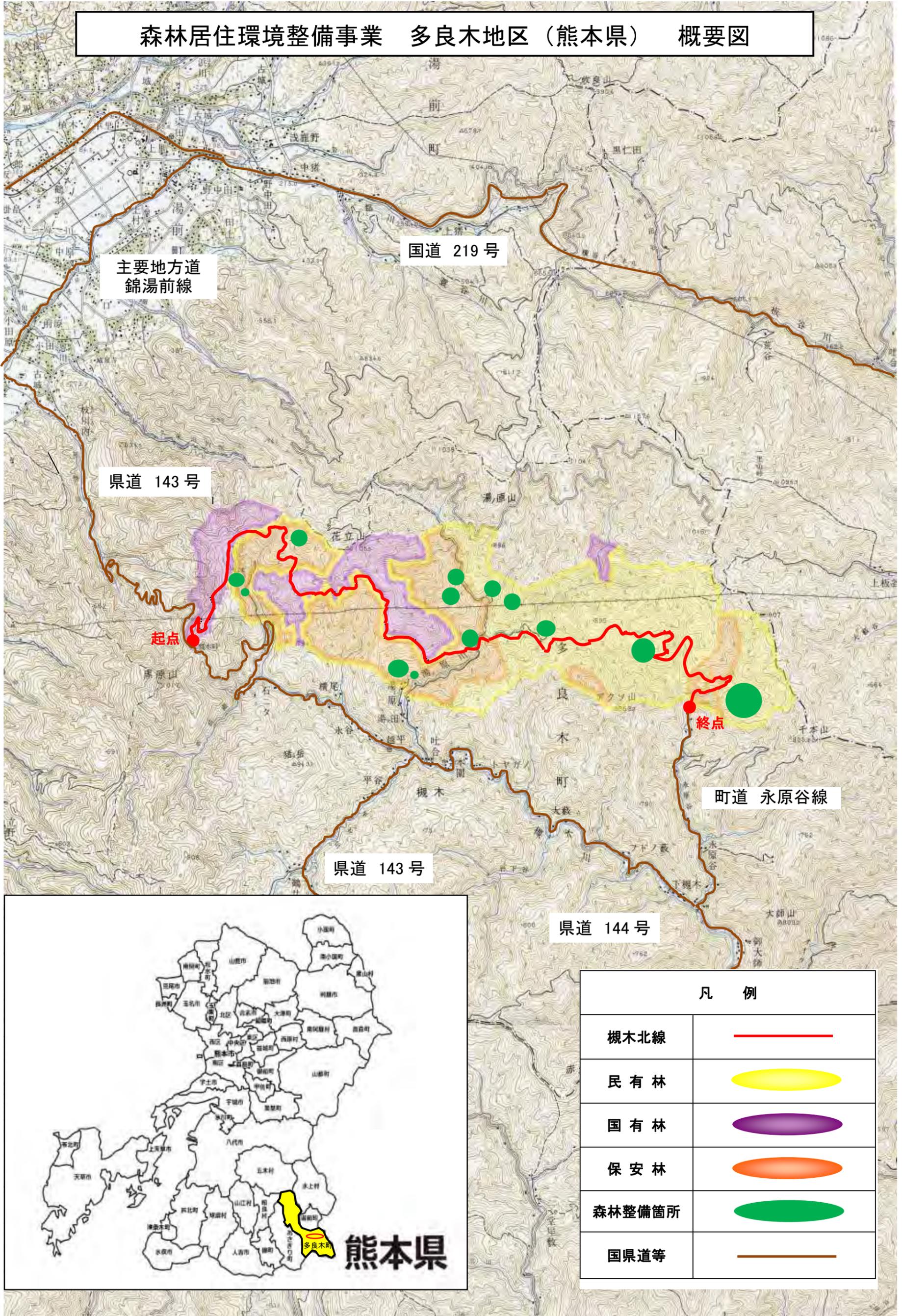
都道府県名:熊本県

地域(地区)名: ^{たらぎ}多良木

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,092	
	木材利用増進便益	49,331	
	木材生産確保・増進便益	202,650	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	480	
	森林整備促進便益	1,946,048	
総 便 益 (B)		2,199,601	
総 費 用 (C)		2,135,344	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,199,601}{2,135,344} = 1.03$		

森林居住環境整備事業 多良木地区（熊本県） 概要図



主要地方道
錦湯前線

国道 219号

県道 143号

起点

町道 永原谷線

終点

県道 143号

県道 144号

凡例

槻木北線	
民有林	
国有林	
保安林	
森林整備箇所	
国県道等	



熊本県